

こあじ冊子

～Little Tern Project ボランティア通信～



■ ■ 2006年度 リトルターン・プロジェクト 報告会開催 ■ ■

リトルターン・プロジェクト(以下、LTP)は、平成13年6月に東京都下水道局森ヶ崎水再生センターの屋上にコアジサシが営巣していることが発見されて以来、東京都下水道局、大田区と協働でコアジサシの保護活動を行っています。

これまでの活動の報告に加えて、今年度の営巣地の整備状況と営巣結果、保護活動などを報告する講演会を開催します。これまでLTPの活動を知らなかった方を主な対象としていますが、多くの方に楽しんでいただけるように準備を進めております。ぜひ、みなさまお誘い合わせの上、ご参加ください。

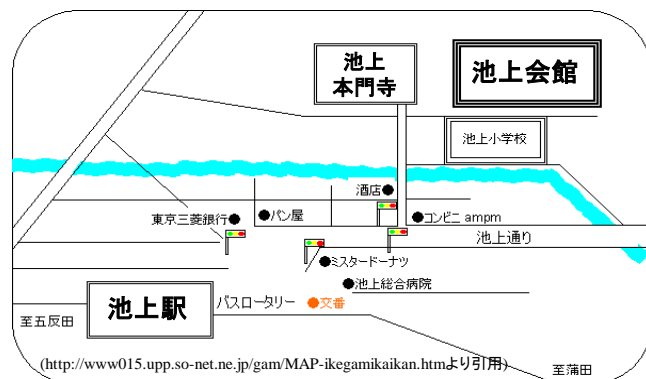
※ これまでの講演会・報告会など一部内容が重複することもありますがお容赦ください。

=== 特別企画 ===

加藤幸子氏(芥川賞作家)と、堀越保二氏(日本画家)の対談
「鳥たちをめぐる物語」もお楽しみに!!

- ☆ 日時:12月2日(土)13:30~15:30
- ☆ 会場:池上会館(大田区池上1-32-8)
- ☆ 対象:一般
- ☆ 参加費:無料 ☆ 定員:先着150名
- ☆ 申込方法:事前申し込み不要

- ☆ 主催:LTP/共催:大田区/
- 協力:東京都下水道局森ヶ崎水再生センター
- ☆ 問合わせ:大田区役所環境保全課 (TEL:03-5744-1365)



◆◆ Topic ◆◆

お知らせ 2006 リトルターン・プロジェクト報告会開催 ⇒表紙に掲載

報告 2006 コアジサシ営巣結果

特集 Field Assistant Network

報告 ホタルの夕べ

報告 NPO法人になりました

報告 コアジサシ観察会

2006 コアジサシ営巣結果

営巣結果

今年も、週に1回、営巣地の2分の1の面積のみ、調査を行いました。その結果をご報告いたします。

今年の“初営巣記念日”は5月20日。砂利部分で3巣、コンクリート部分で1巣が発見されました。8月20日の調査では、営巣地にコアジサシは1羽もおらず、みんなで南方へ帰っていったようです。

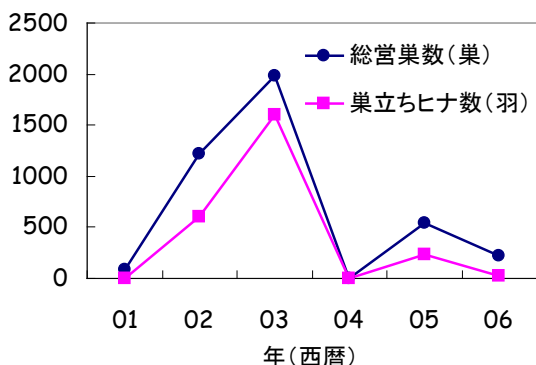
総営巣数・総産卵数・孵化率・巣立ちヒナ数を、調査結果より推定したところ、次のような結果になりました。

総営巣数 (巣)	総産卵数 (卵)	孵化率	巣立ち ヒナ数(羽)
222	404	0.158	20-60

営巣数の減少

表の数字は、一羽も巣立たなかった2004年よりは多いものの、昨年や2002年、2003年と比べると小さい値でした。森ヶ崎では毎年、ボランティアの皆様や水再生センターの皆様のご協力を得て、コアジサシにとって好ましい環境づくりを継続して行ってきました。

では、なぜ今年は今までに比べ営巣数が少なかったのでしょうか？



コアジサシは浮気性！？

その一番の理由はコアジサシの“浮気性”ともいえる生態に原因がありそうです。

コアジサシは毎年同じ営巣地を利用するのではなく、近くに他の営巣適地があればそちらに移動してしまうことも多くあります。今シーズンはたまたま森ヶ崎の周辺に工事予定地として大きな裸地がいくつか出現したために、昨年森ヶ崎に営巣したコアジサシの一部もそちらに移ってしまったと考えられます。その結果が今シーズンの森ヶ崎の営巣数減少に繋がったのでしょうか。逆に2002年や2003年には周りに営巣適地がなかったため、森ヶ崎に爆発的な数のコアジサシが営巣したと考えています。

森ヶ崎の重要性

他に営巣地ができたからといって森ヶ崎が必要ないかということ、そんなことは決してありません。と言うのも、今年コアジサシが営巣したこれらの裸地のほとんどは来年には工事が始まってしまい、営巣できる土地が減少してしまいます。この結果、多くのコアジサシが森ヶ崎に帰ってくることが予想されています。森ヶ崎はコアジサシのために作られた場所であり、コアジサシがいつでも安全に営巣できるかけがえのない場所なのです。我々は今後も営巣地の整備を続け、いつコアジサシが戻ってきてでも安心して営巣できるような準備をしておく必要があると考えられます。

また、LTPでは、森ヶ崎を常にコアジサシが訪れることのできる場所として整備を続けるだけでなく、今後は他にも多くの場所をコアジサシのために確保できるように努力をしていきたいと考えています。今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。(W.K.)

Field Assistant Network 紹介

フィールドアシスタントネットワーク(以下F.A.ネットワーク)は4本の基本理念のもと、現在は大きく分けて5つの活動を行っています。

【基本理念】

- 「自然を愛し、自然を守りたい仲間のネットワーキング」
- 「自然保護に貢献できる人材の育成」
- 「自然保護を進める団体・個人への協力」
- 「若い世代への活動の機会と情報の提供」



06` NEC学生バードソンの競技中

【活動内容】 URL <http://www005.upp.so-net.ne.jp/fan/> TEL:090-7633-2002

- ① ワークキャンプ：春と夏の年2回、学生10名前後が人手を必要としている自然保護現場に行き、作業をおこなう自然保護ボランティア合宿の実施
- ② NEC学生バードソン：
バードウォッチングと募金活動を合わせた自然保護チャリティーイベントの企画・運営。1988年から累計で1,700人以上の方々から、1,400万円以上もの募金をいただいて自然保護を進める団体に寄付しました。
- ③ LTPへの参加協力
- ④ ソロモンの指輪：千葉県谷津干潟自然観察センターで行う自然観察プログラムの実施
- ⑤ ラムサールセンタージャパンへの参加協力：
湿地の保全と人間との関わりについて普及、啓発活動を行っているラムサールセンタージャパンへの参加協力

LTPとの関係

F.A.ネットワークとLTPは、LTP設立時からの付き合いです。つまり今年で5年目になります。きっかけはLTP代表の増田さんが活動していた大田区に流れる内川の保全活動にF.A.ネットワークも関わっていたことです。LTPは人手不足の解消、F.A.ネットワークは『自然保護のフィールドとして経験をさせていただく場』といったメリットが双方にあるとのことで協力させていただくことになりました。

現在、F.A.ネットワークは整備作業やデコイ設置、観察会や環境学習の補助といった直接的にお手伝いさせていただいています。また、労力だけではなく、2003年2004年度とF.A.ネットワークが運営しているNEC学生バードソンで集まった募金額およそ190万円をLTPに寄付させていただきました。募金はLTPの運営資金として活用させていただいております。

私たちにできる出来ることはわずかですが、これからもLTPの協力団体として積極的にお手伝いさせていただきます。(K.M.)



営巣地整備作業に参加

スタッフ紹介【特別編】 F.A.ネットワーク

稲垣宏一

F.A. ネットワーク・事務局長
東京理科大学理工学部四年



小さい頃TVで「諫早湾締め切り特集」を見て以来、自然保護問題や環境問題に関心を持ち、環境問題の根本にある化学を学ぶことのできる化学科に入学しました。しかし「机上の勉強だけではだめだ」と感じて2004年の夏に行われたF.A.ネットワーク主催のワークキャンプに参加。このキャンプをきっかけに「今の自分のできることをしていこう」「自然保護に関わっている様々な人から多くのものを吸収したい」と思い、現在の活動を行っております。

南公一郎

F.A. ネットワーク・LTP担当
日本大学生物資源科学部三年



私とLTPとの関わりは2005年の作業に参加したときからです。初めて屋上でコアジサシの営巣調査に参加したとき、本来のものとは大きく異なる営巣地の現状にとられることなく、必死で子育てをするコアジサシを目の当たりにして大きなショックを受けました。それから小さいことでも自分なりにできることを協力させていただいています。また、大学では今年からコアジサシの繁殖地の条件についての調査を行っています。ただ、今年はいままでのデータが取れなかったためまた来年引き続き行うか思案中ですが…。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

報告

ホタルのタベ

いろいろお世話になっている森ヶ崎水再生センター主催の「ホタルのタベ」に出展しました。昨年も参加した「ホタルのタベ」ですが、今年も森ヶ崎水再生センターから出展のお誘いがあり、7月20日(木)に出展しました。

この「ホタルのタベ」は地元の方々に水再生センターを理解してもらおうと、以前から行われているイベントで、大森南にあるセンターの西施設で行われています。メインコーナーは、タイトルにもなっている通りホタルを見ることなのですが、門からホタル舎に行く道沿いに、センター職員によるさまざまなコーナーが出展しています。

LTPもそのうちの一つのコーナーということで、これまでの活動を紹介したパネル展示や、オリジナル缶バッチの作成体験などを行いました。折り紙で作ったコアジサシの帽子をかぶったスタッフや甚平姿のスタッフなどがいて、他のコーナーより目立っていたかな!? (M.M.)



2つ産みつけられた卵



レンガ脇のヒナ



幼鳥



8/6 足環つきの成鳥も発見されました!!

東京都森ヶ崎水再生センターをはじめ、皆さんの協力のおかげで事故も無く、無事終了することができました。改めて感謝申し上げます。来年もより興味深く、楽しい観察会になるように工夫をしてゆきます。(H.D.)

お昼からの交流会では、LTPスタッフで、東大大学院生の染谷さんによるコアジサシの渡りに関するレクチャーが行われ、たくさんさんの質問がありました。

デジタルカメラが普及したのか、スコップを組み合わせ、プロ並みの写真を撮る方も多くなりました。また大勢の方は、新聞・テレビの報道で、中学生が製作・設置したデコイをご存知で、話題となりました。

今年も6〜7月にかけて3回開いた観察会には、延べ100人を超えるボランティアさんや、コアジサシ・野鳥に関心のある方が参加されました。リピーターの方が多いのですが、初めての方は、干潟で魚をとる様子や、営巣地での求愛給餌の様子、抱卵中の親鳥、一部では、雛や若鳥を見て感動されていました。

コアジサシ観察会

NPO法人になりました!

今年度に入り、NPO法人化に向けて断続的に勉強会等を開催してきましたが、この度、NPO法人となることについての運営スタッフの意思統一が図られたということで、認可申請を行い、10月27日に認証書が東京都知事より届きました。11月10日には登記も完了し「特定非営利活動法人:リトルターン・プロジェクト」となりました。これからも、LTPの活動にご理解とご協力をお願いいたします。

◎ お知らせ「会員について」

NPO法人化に伴い会員を「正会員」と「賛助会員」という形に整理しました。詳しくは、次号のこあじ冊子で行う予定です。(M.M.)

◇ お問い合わせ先

住所: 〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22増田方 リトルターン・プロジェクト

E-mail: littletern_pj@hotmail.com

Tel: 080-1173-7534 (受付時間...10:00~20:00)

◇ HP-URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>

◇ 発行 リトルターン・プロジェクト

◇ 編集 水越正幸・南公一郎・柴田英美

◇ イラスト・写真撮影 大塚豊ほか